



清らかな流れを、次の世代へ

プロジェクト保津川

プロジェクト保津川の
WEBサイトのブログ
「京都・保津川のほとりから」
下記QRコードで携帯サイトに
アクセスできます。



特定非営利活動法人 プロジェクト保津川

〒621-0005
京都府亀岡市保津町西馬場
32番地
TEL: 0771-22-1616
FAX: 0771-25-2382

当日担当者TEL
090-8757-9679
早田 和仙(はやた かずのり)

Email: info@hozugawa.org
HP: <http://hozugawa.org/>

私たちプロジェクト保津川は、流域の住民、各種団体、企業、行政とのパートナーシップのもと、保津川の環境保全を通じて循環型地域社会、そしてまちづくりにつなげていくことを目指しています。そしてさらに、清らかな流れを次の世代へ、全ての川で。活動を広げつつあります。

主な活動は、大きく分けて3点

1. 定例清掃会、環境教室

月一度、第3日曜日の朝に保津川周辺の河川の清掃活動を行っています。

主に、地元自治会の皆様、地域企業、団体、付近住民の方々等多くの方々にご参加いただいています。河原の清掃活動だけでなく、胴長を着用しての河川内での清掃活動や、保津川下りの船に乗船しての保津峡内の清掃ツアーも実施しています。

また、川に親しむことを目的に、年に一回程度の環境教室も実施しています。

内容はさまざまですが、昨年7月には、川魚を捕って食べよう！と称し川漁師の方をお招きして保津川で網を使った漁法で鮎狩りをし、河原で串を打ち、焼き鮎を賞味しました。川で遊ぶ体験をしていない子供たちはもちろん、親世代の大人も真剣に楽しむことを目標にしています。また、川を“知っている”世代の方々と共に過ごし、伝統漁法や地域食の継承も大切にしています。

定例清掃会や、環境教室への社員の方々の福利厚生、社員研修としてのご参加、および清掃道具類やゴミを運搬するための環境に優しい車輛等の提供のご協力をお願いいたします。



2. ごみマップ

ごみマップ(<http://gomi-map.org/>)とは、不法投棄・漂着ごみを“見える化”するツールです。地元市民・行政・市民団体・企業等が其々のできることを行い、その行いをつなぎます。この保津川から始まった活動は、まず賛同くださった他地域の河川へ広がりました。現在は、ごみだけではなく形を変えながら、行政・国交省ともお話をさせていただき、さらに育ち始めています。

不法投棄・漂着ごみの状況調査活動、データ入力へのご参加。および、活動に使用する携帯電話・デジタルカメラ・GPS・パソコン等、機器類のご提供のご協力をお願いいたします。



2. 筏(いかだ)流しの復活

保津川ではかつて丹波山地で切り出された材木を、京の都へと運ぶ筏(いかだ)流し が盛んに行なわれていました。しかし、明治～大正期の山陰本線の開通やトラック輸送の普及と共に次第に衰退し、戦後、完全に途絶えてしまいます。現在、保津川流域でご健在の元筏士は、たった3名。貴重な伝統技術とともに、筏の記憶も今まさに途絶えようとしています。このイベントを通じて貴重な歴史遺産を多くの方々に実見・実感していただくことで、「筏がつなぐ歴史の記憶」をよみがえらせたいと考えています。現在、京都府および亀岡市文化資料館、流域の各団体・事業者のみなさんとともに、流域の文化の再発見や環境保全をめざした取り組みを進めています。

筏流しに使用した木材(杉・桧)を使っの商品開発と、販路確保に向けての協働。および、亀岡や嵐山で行う筏を



使用したイベントへのご参加とご協力をお願いいたします。

活動以外では、法人または個人会員として、常々応援していただけることを希望しています。